

外国為替証拠金取引の動向調査結果 2008 - インターバンク参加者も注目する外国為替証拠金取引 -

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて外国為替証拠金取引（FX）市場の調査を行った。

1. 調査期間：2008年5月～7月
2. 調査対象：商品先物会社、専業会社、証券会社、異業種からの新規参入会社など128社
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面談、ならびに電話・e-mail等によるヒアリングを併用

<外国為替証拠金取引(FX: Foreign Exchange)とは>

1998年4月の外為法の改正を受けて登場した、国内初の一般個人投資家向けの外貨売買の金融商品である。取引のしくみは、小額の証拠金を担保に取引額を想定元本とした差金決済を行うものである。

【調査結果サマリー】

- ◆ **2008年3月期の市場規模（預り証拠金残高）は6,964億円。前年比13.5%と足踏み**
サブプライムローン問題を背景にした急激な円高の影響で、預り証拠金残高が減少する企業も少なくなかったが、大きく残高を伸ばした企業もあり、業界全体では10%台の伸び。
- ◆ **2008年3月期の口座数は、123万口座。前年比91.9%増**
手数料の無料化、スプレッドの狭小化、サービスの拡充でアクティブユーザーの獲得に成功。顧客数は依然、大幅に増加。
- ◆ **市場予測：2009年3月期は9,060億円、179万口座と予測**
4月以降の緩やかな円安基調及びネット銀行、異業種からの参入が相次ぎ、2009年3月期は再び大幅伸長と予測。
- ◆ **資料体裁**

資料名：「2008年版 外国為替証拠金取引の動向と展望」
発刊日：2008年7月28日
体裁：A4判 214頁
定価：126,000円（本体価格120,000円 消費税等6,000円）

- ◆ **株式会社 矢野経済研究所**

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝
設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報グループ TEL：03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報室迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】**1. 市場の経緯と背景**

外国為替証拠金取引は、金融商品化されて10年がたつ。この間、2005年7月に施行された改正金融先物取引法の規制を経て、2007年9月に新たに施行された金融商品取引法下で運営されているものである。こうした法整備が進展する中、2008年は、多くの顧客基盤を抱えるネット専門銀行、異業種からの参入、既に参入している証券会社によるFX専門会社の設立等が相次いでいる。

その一方で、急激な円高の影響や、手数料競争に加え、スプレッド競争も本格化する等の競争の激化を受け、経営破たん、M&A、事業強化のためのグループ内統合が目立った1年でもある。

アクティブユーザーの争奪戦が始まった1年であるが、このような競争の激化とこの1年内の2度にわたる円高が、預り証拠金残高、口座数、取引量、企業収益に影響を与えた。

2. 市場概況

昨年調査時において、2008年の市場規模を8,000億円超と予測したが、昨秋及び今春の急激な円高によって外貨買い投資家の資産が減少した結果、当該予測値より低い伸びとなった。

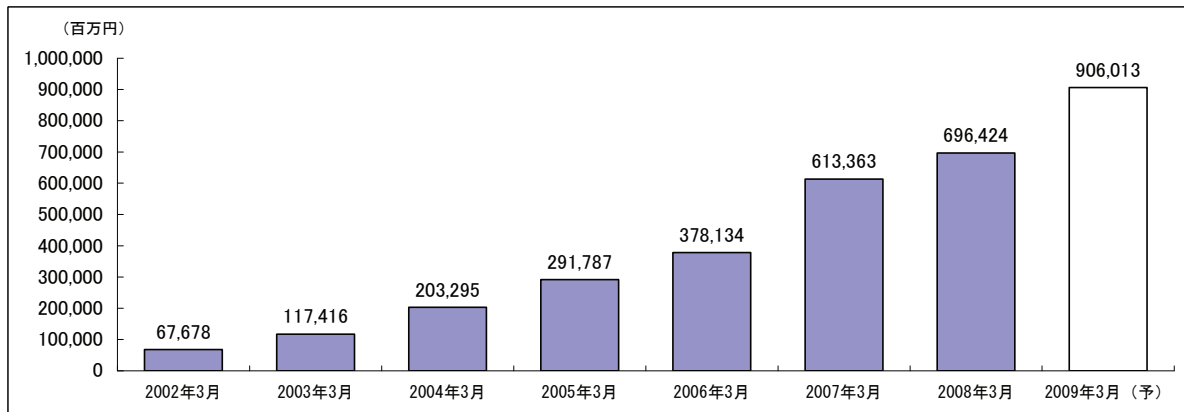
しかしながら、残高を増加させた企業の中には、倍増となった企業もあり、商品スペックや抱えている顧客層の違いによって格差が表れ、2008年3月期は業界全体で6,964億24百万円となり、前年比13.5%増となった。

口座数も預り証拠金残高と同様に、毎年増加傾向にあり、預り証拠金残高よりも伸びは著しく、2~3倍、またはそれ以上の伸びを見せた企業もある。2008年3月期は前年比で91.9%の伸びを示し、123万7,319口座となったと推計した。口座数の伸長には、セミナーの実施、キャンペーンによる開拓に加え、高スペック商品の投入による投資環境の充実、投資コストの低減など、顧客の利便性が大きく向上したことが背景にある。

3. 市場予測

2009年3月期については、2008年4月以降の緩やかな円安相場を受けて復調しているとの声も多いこと、また、競争も激化しているが、商品スペックのリニューアル、ネット銀行の参入、アクティブ層向けFX専門会社の設立等から、市場の活性化が更に進むことと考えられ、市場規模は9,060億円、口座数は179万口座に達すると予測した。

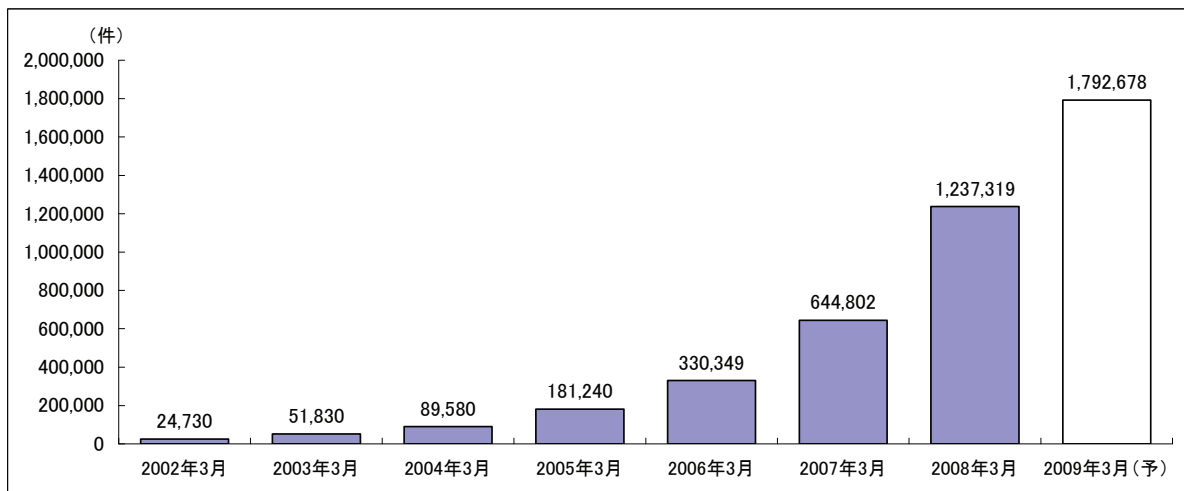
図1 預り証拠金残高(市場規模)推移



矢野経済研究所推計

注：(予)は予測値

図2 口座数推移



矢野経済研究所推計

注：(予)は予測値